

令和8年度入学者選抜学力検査問題

「数学」採点基準の訂正について

大問4の2の(3)の答例

誤「…最も得点となりやすのは6点だから。」

正「…最も得点となりやすいのは6点だから。」

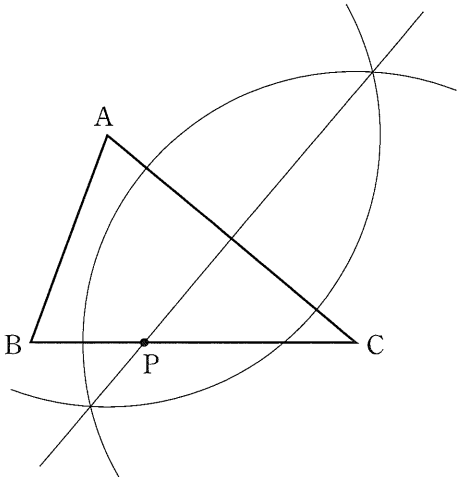
数 学 採 点 基 準

(総点 100 点)

- [注意] 1 この配点は、標準的な配点を示したものである。
2 定められた欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
3 指示された答えと違う表現で記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
4 採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

1	1	-14	2	$6a^2$	2点×8 得点 16
	3	$3\sqrt{7}$	4	$(x=)1, 8$	
	5	$-\frac{3}{2}$	6	$(x=)\frac{20}{9}$	
	7	56(度)	8	(例) $(x=)2, (y=)1$	

	1	イ, エ	3 点	
	(1)	(例) $\begin{cases} 2(x+3)-9=y & \cdots\cdots\textcircled{1} \\ 2(y-9)+3=x & \cdots\cdots\textcircled{2} \end{cases}$ ①より $y=2x-3$ $\cdots\cdots\textcircled{3}$ ②より $x=2y-15$ $\cdots\cdots\textcircled{4}$ ③を④に代入して $x=2(2x-3)-15$ よって $x=7$ ③に代入して $y=11$ この解は問題に適している。	6 点	
2		答え ($x=7$, $y=11$)		
	2	(例) 計算 C の結果は $(n+3)^2-9$ 計算 D の結果は $(n-9)^2+3$ と表せる。 よって、計算 C の結果から計算 D の結果をひくと $\{(n+3)^2-9\}-\{(n-9)^2+3\}$ $=(n^2+6n)-(n^2-18n+84)$ $=24n-84$ $=12(2n-7)$ n は整数より $2n-7$ は整数だから $12(2n-7)$ は 12 の倍数である。	6 点	
				得点
				15

3	1	(例) 	4点	(1)は3点 (2)は5点
	2	(1) $15\pi(\text{cm}^3)$ (2) $(h=)6\sqrt{2}$		

3	3	(I) (例) 半円の弧に対する円周角だから、 $\angle DAB = \angle CBA = 90^\circ \cdots\cdots\textcircled{2}$ AB は共通 $\cdots\cdots\textcircled{3}$ ①, ②, ③より、 直角三角形の斜辺と他の1辺がそれぞれ 等しいから	8点	得点 20
	(II)	2組の向かい合う辺がそれぞれ等しい		

4	1	(およそ)1200(匹)			3 点			6 点	
	2	(1)	7		(2)	イ			(1)は 2 点 (2)は 3 点
		(3)	(<u>正しい</u> ・ 正しくない) (理由) (例) 得点が 4 点, 5 点となる確率はどちらも $\frac{3}{16}$, 得点が 6 点となる確率は $\frac{1}{4}$ であり, $\frac{3}{16} < \frac{4}{16}$ より, 最も得点となりやすのは 6 点だから。						
		3	(1)	①	イ	②	ア		③
	(2)		エ			(1)は 3 点 (2)は 4 点			
								得点	
								21	

5	1	① 4 ② 9	4点	7点
	③	75		
	(1)	$(a=)\frac{1}{4}$	3点	
2	(2)	(例) 直線 BC の傾きは $\frac{4-1}{4-2} = \frac{3}{2}$ であるから、直線 BC と平行な直線 ℓ の式は $y = \frac{3}{2}x + b$ と表される。 直線 ℓ は点 A(−6, 9)を通るから $9 = \frac{3}{2} \times (-6) + b$ $b = 18$ よって直線 ℓ の式は $y = \frac{3}{2}x + 18$ である。 点 D は直線 ℓ と x 軸との交点だから $0 = \frac{3}{2}x + 18$ $x = -12$	答え (−12)	得点 28
	(3)	① $\frac{t}{2} + 1$ ② $\frac{t}{2} + \frac{1}{2}$	7点	
3	(1)	$\frac{1}{2} \leq y \leq 4$	(2) P(2, 2)	(1)は3点 (2)は4点
	③	27		